



玉垣小学校だより

令和5年9月6日（水）学校通信 第8号

がっき はじ 2学期が始まりました

なが なつやす お 長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な顔が学校に戻ってきました。どの子も何となく一回り大きくなったように感じます。



まだまだ暑い日が続く、熱中症

など気を付けなくてはならないことが多い時期ですが、子どもたちにとって安心安全で充実した2学期になるよう、教職員一同努力して参ります。ご協力よろしくお願ひいたします。



あしがた め もく トイレの足型マークを塗ってもらいました 7/27(木)



子どもたちがトイレを気持ちよく使えるようにと、地域のボランティアさん（小幡さん、河合さん、一見さん、増田さん）がトイレのスリッパの足型マークのペンキ塗りを夏休み中にしてくださいました。



当日は大変暑い日で、4人のボランティアさんは大粒の汗をかきながら、作業してくださいました。誠にありがとうございました。

なつやす せんせい べんきょう か 夏休み、先生たちも勉強しています 8/1(火)

この日、千代崎中学校区の幼小中の先生たちが一堂に集まり、



研修会が実施されました。

「学力向上」「ICT機器活用」

「人間関係」「特別支援教育」の

4グループに分かれ、熱心な意見交換が行われました。



だい かいがっこううんえいきょうぎ かい もく 第3回学校運営協議会より 8/24(木)

こんかい おも ほうしたいさく ぜんこくがくりょくちょうさけっか きょうぎ おこな い か
今回は主に「いじめ防止対策」「全国学力調査結果」について協議を行いました。以下は
おも いけん ぼっすい
主なご意見の抜粋です。

◎「いじめ防止対策について」

Qいじめアンケートだけでなく、子どもから学校の先生に直接相談する児童はいるのか。

A直接相談をうけるケースもある。

Qいじめのことを先生に相談しても無駄だと考えている児童はいないか。

A担任だけでなく、養護教諭や学年の先生など、子どもが話しやすい先生に話せるようにしながら、全校体制でいじめ解決に向けた取組を進めるようにしている。また、いじめの認知についても担任だけで判断するのではなく、いじめ防止対策校内委員会を開き、一つ一つのケースについて、複数の目で確認し組織的な対応を取るようにしている。

Q学校にいじめを申告するボックスのようなものはないか。

A現時点では設置していないのでぜひ検討してきたい。

Q教育委員会としていじめ等に関わる相談員を配置する計画はないのか。

Aいじめについては、今は多くの学校で組織的な対応を心がけている。担任だけでなく複数で子どもたちとの関わりを作りながら、誰に対しても相談できる環境を提供できるように努めていきたい。また、自分から声を発することをためらう児童についても、良い方法がないか検討していきたい。

◎「全国学力調査結果について」

・鈴鹿市は全国平均より下だという結果であるが、数字のみに一喜一憂せず、傾向を分析して、今後の授業改善等につなげていきたい。

・家庭学習や読書をする時間については改善傾向が見られるが、全国平均よりやや短いと考えている。時間だけでなく、内容も効率的に充実したものとなるよう工夫が必要である。

・児童質問紙からは、家で計画を立てて勉強しようとしている子どもたちの姿がわかる一方で、学級で話し合いながらよりよい解決方法を目指していこうとする点等に課題が見られた。これらの結果を全教職員でも共有しながら、今後の取組を進めていきたい。

・健やかな子どもたちが育ってくればとは思いますが、学力面については、今後も実態に応じた対策を講じる必要がある。